

○修士の学位授与と修士論文の審査基準

福山市立大学教育学研究科

修士の学位は、修士論文の審査及び最終試験に合格した学生に授与される。

I. 修士論文審査基準

学位申請者が提出した修士論文を、主査1人及び副査2人が審査するが、その審査基準は、次のとおりである。

1. 研究主題及び題目と目的

問題意識、研究主題及び題目、目的・方法は、先行研究を参照した上で、明確で適切に設定されているか。

2. 研究方法

研究目的の達成に採用された研究方法の選択と実施は、適切か。

3. データや資料等の収集等

データや資料等の収集・処理・分析・解釈の仕方は、適切か。

4. 論述における論旨

問題の解明プロセス、意見や主張、論理構成は、的確で適切か。結果の記述、考察、文献の引用、注記等が適切になされ、学術論文としての形式が整っているか。参考・引用文献の表記は、適切か。

誤字や脱字はチェックされているか。

5. 研究成果の寄与

研究成果が学術的な意義をもち、教育実践につながる教育的・社会的な寄与をなしているものであるか。

6. 研究倫理の遵守

研究計画の立案及び遂行、研究成果の発表並びにデータの保管に関して、適切な研究上の倫理が遵守されているか。学内の倫理規程や研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準等を遵守しているか。

II. 口述による最終試験評価基準

学位申請者が提出した修士論文について、口述による最終試験を実施することによって評価するが、その基準は、次のとおりである。

1. 提出された修士論文の内容についての口述試験
2. 論文作成に当たってどのような研究を行ったかについての口述試験
3. 研究成果のさらなる発展可能性についての口述試験